



平成23年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月9日

上場会社名 株式会社メディックグループ 上場取引所 東
 コード番号 2369 URL <http://www.medibic.com>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)橋本 康弘
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員管理本部長 (氏名)門井 豊 (TEL)03(6415)4031
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年12月期第3四半期の連結業績(平成23年1月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年12月期第3四半期	130	△21.1	△166	—	△177	—	△154	—
22年12月期第3四半期	165	△20.1	△190	—	△192	—	△205	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年12月期第3四半期	△768 73	—
22年12月期第3四半期	△1,149 30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年12月期第3四半期	293	227	73.9	1,066 10
22年12月期	334	255	73.6	1,290 48

(参考) 自己資本 23年12月期第3四半期 216百万円 22年12月期 245百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年12月期	—	0 00	—	0 00	0 00
23年12月期	—	0 00	—		
23年12月期(予想)				0 00	0 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年12月期の連結業績予想(平成23年1月1日～平成23年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通期	200 △6.8	△184 —	△192 —	△193 —	△1,012 90

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

新規 一社、除外 一社

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年12月期3Q	203,442株	22年12月期	190,542株
② 期末自己株式数	一株	22年12月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	200,932株	22年12月期3Q	178,465株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）P.3「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. その他の情報	P. 4
(1) 重要な子会社の異動の概要	P. 4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	P. 4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	P. 4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書	P. 7
【第3四半期連結累計期間】	P. 7
【第3四半期連結会計期間】	P. 8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 10
(5) セグメント情報	P. 10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、好調なアジア経済の下支えにより、緩やかな回復基調にありましたが、平成23年3月11日に発生した東日本大震災、欧米の長引く財政不安、円高の進行などにより、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

こうした状況のなか当社グループは、「個人に合わせたテーラーメイド医療」実現に向け、製薬企業、アカデミック・研究機関に対するサービスフォロー、新規顧客開拓、個人向けテーラーメイド健康管理サービスである「おくすり体質検査」の販売・事業化を積極的に行ってまいりました。

以上によりまして、当第3四半期連結累計期間における連結業績、セグメント別概況につきましては以下のとおりとなりました。

	実績(千円)	対前年同期増減(千円)
売上高	130,518	34,914 減
営業損失	166,815	23,711 減
経常損失	177,611	15,042 減
四半期純損失	154,462	50,648 減

<バイオマーカー創薬支援事業>

当事業におきましては、PGx試験支援サービスの主体となる検体バンキングサービス、検体管理システム販売及びRNA増幅試薬の販売、臨床試験サポートを国内外の製薬メーカー、アカデミック・研究機関に対して行うほか、製品・サービスのバイオ関連展示会への出展、専門誌を通じた広報/PR活動により新規顧客開拓にも力を入れてまいりました。

これにより、バイオマーカー創薬支援事業の売上高は76,870千円、セグメント利益は1,000千円となりました。

<テーラーメイド健康管理支援事業>

当事業におきましては、PGx事業や『DNAプライベートバンク』サービスにおけるノウハウを活用した個人向け健康管理支援サービスとして、『おくすり体質検査』サービスの技術開発及び販売スキームの構築、提携クリニック(5ヵ所)を通じた販売のほか、医療従事者向けセミナーでの直接販売、調剤薬局(11ヶ所)での販売などを行ってまいりました。

これにより、テーラーメイド健康管理支援事業の売上高は6,611千円、セグメント損失は30,980千円となりました。

又、本年11月1日付け公表の株式会社フォント・ホールディングスとの業務提携契約締結に係るテーラーメイド体質検査を活用した新規事業開発につきましては、質の高いライフスタイルの支援を目的とした「発毛・育毛・薄毛」に関するサービスの早期事業化を進めるべく、鋭意準備を進めているところであります。

<創薬事業>

当事業におきまして、米国Eleison Pharmaceuticals, Inc. (Eleison社)とともに抗がん剤Glufosfamide(グルフォスファミド)の共同開発に取り組んでおります。グルフォスファミドはがん細胞に吸収されやすいその特異性と副作用を抑える仕組みをもつ第3世代アルキル化剤として、その開発に大きな期待が寄せられています。既に米国におきましては、これまで行われた治験の結果から複数のがんの種類においてその有効性が認められると評価されています。Eleison社は第Ⅲ相臨床試験に関するSpecial Protocol Assessment(SPA)を米国食品医薬品局に提出、本年5月には世界的開発業務支援機関であるPharm-Olam International Ltd.をCROに選定し、本試験開始の準備を整えております。この試験では化学療法治療の後、すい臓がんが再発した患者を対象に、2nd-Line標準薬としての有効性評価が検証されることとなります。又、欧州では、グルフォスファミドが、本年4月に

欧州委員会により正式にオーファンドラッグとして認定を受け、EU圏における10年間の独占販売権がEleison社に与えられると同時に、プロトコルサポートやインセンティブとして開発援助金を受けるなど優遇措置が講じられることとなりました。

当社グループにおきましては、米国での開発進展を見守りつつ、中国、韓国などのアジア諸国の製薬メーカー等に共同開発あるいはライセンスアウト等の交渉を行っておりますが、本年10月、Eleison社が韓国の大手製薬企業Daewoong Pharmaceuticals Co.,Ltd (Daewoong社) に対し、グルフォスファミドの一部権利を譲渡したことを受け、今後はDaewoong社を新たに加え交渉を進めることとしております。

なお、創薬事業の売上高の計上はありません。

<投資・投資育成事業>

当事業におきましては、保有する営業投資有価証券の売却を進めたことにより、非上場の外国株式1銘柄を売却いたしました。

これにより、投資・投資育成事業の売上高は47,036千円、セグメント損失は22,438千円となりました。

<その他>

当第3四半期連結累計期間におきましては、投資有価証券売却益9,276千円、過年度損益修正益1,690千円、投資損失引当金戻入額13,224千円を特別利益として計上しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は293,650千円となり、前連結会計年度末に比べ40,514千円減少いたしました。主な要因としては、現金及び預金の増加10,693千円、売掛金の減少6,337千円、営業投資有価証券の減少55,483千円、投資損失引当金の減少13,224千円、投資有価証券の減少10,238千円によるものであります。

負債は66,204千円であり、前連結会計年度末に比べ12,732千円減少いたしました。主な要因は、未払法人税等の減少3,024千円、前受金の減少9,212千円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ27,782千円減少し、227,446千円となりました。これは新株予約権の行使に伴い資本金及び資本剰余金がそれぞれ53,876千円ずつ増加したこと、四半期純損失154,462千円の計上によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ10,693千円増加し97,205千円となりました。当第3四半期連結累計期間の概況は次の通りです。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動によるキャッシュ・フローは106,307千円の支出となりました。これは主に税金等調整前四半期純損失152,929千円及び投資損失引当金の減少13,224千円、営業投資有価証券の減少68,816千円によるものであります。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動によるキャッシュ・フローは19,545千円の収入となりました。これは主に投資有価証券の売却による収入23,618千円によるものであります。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動によるキャッシュ・フローは103,672千円の収入となりました。これは新株予約権の行使による収入107,753千円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年2月10日付「平成22年12月期決算短信」におきまして公表いたしました平成23年12月期の連結業績予想に変更はございません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. 固定資産の減価償却費の算定方法	定率法を採用している資産については、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。
2. 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法	法人税等の納付税額の算定並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定に関して、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。 繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

この変更に伴う損益に与える影響はありません。

なお、当社及び当社グループは、オフィスの不動産賃貸契約に基づく、退去時の原状回復に係る債務等を有しておりますが、当該債務に関する賃借資産の使用期間が明確でなく、現時点において将来退去する予定もないことから、資産除去債務を合理的に見積もることができません。そのため、当該債務に見合う資産除去債務を計上しておりません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは、営業損失、経常損失、当期純損失及び営業活動によるキャッシュ・フローにおきまして前連結会計年度まで継続してマイナスを計上しており、当第3四半期連結累計期間におきましても営業損失166,815千円、経常損失177,611千円、四半期純損失154,462千円、営業活動によるキャッシュ・フロー△106,307千円を計上するに至っており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社グループにおきましては、当該状況を解消すべく、安定した財務基盤の確立に向けて「事業収益の拡大」および「資産のキャッシュ化」を経営の柱として取り組んでおります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	97,205	86,511
受取手形及び売掛金	8,881	15,219
営業投資有価証券	148,176	203,659
投資損失引当金	△34,377	△47,602
商品及び製品	380	1,372
仕掛品	30,610	28,349
その他	23,851	24,177
貸倒引当金	△17,091	△17,091
流動資産合計	257,636	294,597
固定資産		
有形固定資産		
その他(純額)	7,501	4,397
有形固定資産合計	7,501	4,397
無形固定資産		
ソフトウェア	4,024	—
その他	144	144
無形固定資産合計	4,168	144
投資その他の資産		
投資有価証券	0	10,238
出資金	12,241	14,060
敷金及び保証金	12,102	10,728
その他	595	2,304
貸倒引当金	△595	△2,304
投資その他の資産合計	24,344	35,027
固定資産合計	36,014	39,568
資産合計	293,650	334,165

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	559	1,819
未払費用	15,654	13,951
未払法人税等	4,279	7,304
前受金	41,444	50,657
その他	2,832	3,319
流動負債合計	64,770	77,051
固定負債		
受注損失引当金	1,433	1,884
固定負債合計	1,433	1,884
負債合計	66,204	78,936
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,176,357	2,122,480
資本剰余金	2,709,554	2,655,677
利益剰余金	△4,621,205	△4,466,743
株主資本合計	264,706	311,414
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△47,816	△65,523
評価・換算差額等合計	△47,816	△65,523
新株予約権	10,077	8,827
少数株主持分	479	510
純資産合計	227,446	255,229
負債純資産合計	293,650	334,165

(2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)
売上高	165,433	130,518
売上原価	157,469	106,282
売上総利益	7,963	24,236
販売費及び一般管理費	198,490	191,052
営業損失(△)	△190,527	△166,815
営業外収益		
受取利息	62	193
為替差益	0	—
貸倒引当金戻入額	—	1,709
その他	369	944
営業外収益合計	431	2,848
営業外費用		
支払手数料	—	5,369
為替差損	—	6,467
賃借料	1,596	—
その他	962	1,807
営業外費用合計	2,558	13,644
経常損失(△)	△192,654	△177,611
特別利益		
投資損失引当金戻入額	2,160	13,224
新株予約権戻入益	1,518	38
投資有価証券売却益	—	9,276
受注損失引当金戻入額	—	451
過年度損益修正益	—	1,690
特別利益合計	3,678	24,682
特別損失		
固定資産廃棄損	165	—
本社移転費用	9,010	—
投資有価証券売却損	5,447	—
特別損失合計	14,623	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△203,599	△152,929
法人税、住民税及び事業税	1,533	1,533
法人税等合計	1,533	1,533
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△154,463
少数株主損失(△)	△22	△0
四半期純損失(△)	△205,111	△154,462

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)
売上高	29,849	31,453
売上原価	29,882	11,136
売上総利益又は売上総損失(△)	△32	20,316
販売費及び一般管理費	56,099	66,796
営業損失(△)	△56,132	△46,480
営業外収益		
受取利息	21	19
為替差益	0	—
貸倒引当金戻入額	—	570
その他	106	45
営業外収益合計	128	636
営業外費用		
為替差損	—	3,964
その他	62	2
営業外費用合計	62	3,966
経常損失(△)	△56,067	△49,809
特別利益		
新株予約権戻入益	389	—
特別利益合計	389	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△55,678	△49,809
法人税、住民税及び事業税	511	511
法人税等合計	511	511
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△50,321
少数株主利益又は少数株主損失(△)	19	△0
四半期純損失(△)	△56,209	△50,320

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△203,599	△152,929
減価償却費	1,035	2,130
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	△1,709
投資損失引当金の増減額(△は減少)	4,545	△13,224
受注損失引当金の増減額(△は減少)	—	△451
受取利息	△62	△193
支払手数料	—	5,369
為替差損益(△は益)	58	6,197
投資事業組合等損益(△は益)	248	1,806
投資有価証券売却損益(△は益)	5,447	△9,276
本社移転費用	9,010	—
売上債権の増減額(△は増加)	8,035	6,337
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,572	△1,268
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	94,761	68,816
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,906	△1,251
その他	11,326	△3,707
小計	△70,526	△93,354
利息及び配当金の受取額	62	193
法人税等の支払額	△3,078	△13,146
営業活動によるキャッシュ・フロー	△73,542	△106,307
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,814	△2,772
無形固定資産の取得による支出	—	△1,888
投資有価証券の売却による収入	3,000	23,618
株主、役員又は従業員に対する貸付による支出	△10,000	—
貸付金の回収による収入	1,692	1,709
敷金及び保証金の差入による支出	△3,400	△1,374
敷金及び保証金の回収による収入	19,011	—
関係会社出資金の分配による収入	6,907	252
投資活動によるキャッシュ・フロー	11,396	19,545
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	42,280	107,753
新株予約権の発行による収入	—	1,288
手数料の支払額	—	△5,369
少数株主への配当金の支払額	△78	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	42,202	103,672
現金及び現金同等物に係る換算差額	22	△6,217
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△19,921	10,693
現金及び現金同等物の期首残高	32,015	86,511
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,093	97,205

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年9月30日)
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年9月30日)

	バイオマーカー創薬支援事業 (千円)	創薬事業 (千円)	テーラーメイド健康管理支援事業 (千円)	投資・投資育成事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	103,117	—	4,487	57,828	—	165,433	—	165,433
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	103,117	—	4,487	57,828	—	165,433	—	165,433
営業利益又は営業損失(△)	5,315	△321	△23,642	△55,603	—	△74,252	△116,274	△190,527

(注) 1. 事業の区分は、当社ビジネス形態の特性を考慮して区分しております。

2. 各区分の事業の内容

- (1) バイオマーカー創薬支援事業 …… バイオマーカーを用いた新薬開発を総合的、複合的に支援するソリューションを提供するもの。受託解析サービス、データ解析サービス、研究支援プロダクトの販売、システム構築、治験コーディネイトサービス、及び、PGx試験サポート業務。
- (2) 創薬事業 …… 自社保有の新薬候補化合物を当社のデータマイニング技術を用いて開発し、付加価値を高めていくもの。
- (3) テーラーメイド健康管理支援事業 …… 個人を対象に健康・医療市場でのサービスを提供するもの。クリニックとの提携によるDNA検査に基づく健康支援サービス、及び、健康支援プロダクト販売。
- (4) 投資・投資育成事業 …… ファンドの管理運営、営業有価証券売買等。
- (5) その他事業 …… 研究者を対象とするセミナーやフォーラム等の開催等。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年9月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店はありませんので、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年9月30日)

	アジア	計
I 海外売上高(千円)	49,387	49,387
II 連結売上高(千円)	—	165,433
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	29.9	29.9

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社グループの事業区分は、ビジネス形態の特性を考慮して次のように区分しております。

＜バイオマーカー創薬支援事業＞

バイオマーカーを用いた新薬開発を総合的、複合的に支援するソリューションを提供。

＜創薬事業＞

自社保有の新薬候補化合物を当社のデータマイニング技術を用いて開発。

＜テーラーメイド健康管理支援事業＞

個人を対象に健康・医療市場で、DNA検査に基づく健康管理支援サービス等を提供。

＜投資・投資育成事業＞

ファンドの管理運営、営業投資有価証券の売買等。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	バイオマ ーカー創薬支 援事業	創薬事業	テーラーメ イド健康管 理支援事業	投資・投資 育成事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	76,870	—	6,611	47,036	130,518	—	130,518
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	76,870	—	6,611	47,036	130,518	—	130,518
セグメント利益又は損失 (△)	1,000	△1,057	△30,980	△22,438	△53,475	△113,340	△166,815

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額△113,340千円は、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、ストック・オプションの一部行使による払い込みを、下記内容にて受けております。この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が2,176,357千円、資本剰余金が2,709,554千円となっております。

(単位:千円)

種類	権利行使者	権利行使日	資本金	資本剰余金
新株予約権	マイルストーン・キャピタル・マネジ メント株式会社	平成23年1月	35,500	35,500
		平成23年2月	8,353	8,353
		平成23年6月	10,023	10,023
合計			53,876	53,876